

2022年度 久万美コレクション展



26
歳

①

水と鐵の控所では
外套を着た多勢が飯を食っている
外は悪魔の荒てる様な
激しい吹雪だー誰も物いはぬ^②

村山槐多
12
歳



18
歳

③

そうせい

作家の年齢別にみる 早生と老熟

2022年12月20日(火)ー2023年5月12日(金)

開館時間：9:30～17:00(最終入館16:30) 休館日：月曜日(1/9日は開館)、12/29日～1/3、1/10、2/24、3/22・入館料：一般500(400)円/高大生400(320)円/小中生300(240)円・()は20名以上の団体料金・高齢者(65歳以上)、障害者手帳等提示で半額。手帳提示の場合、付添い1名も半額。



75
歳

④

①萬鉄五郎《裸体美人(油彩習作)》1911年、油彩/板、町立久万美術館蔵(井部コレクション)
②村山槐多「新詩」『日本少年』4巻12号、1909年、町立久万美術館蔵 ③村山槐多《裸婦》
1915年頃、油彩/キャンバス、町立久万美術館蔵(井部コレクション) ④吉田蔵澤《墨竹図屏風》
1797年頃、紙本墨画/六曲屏風、町立久万美術館蔵(井部コレクション)

KMA

Kuma Museum of Art
町立久万美術館

2022年度 久万美コレクション展 作家の年齢別にみる 早生と老熟



①

久万美の軸コレクションである井部コレクションの大きな特徴の一つに、「夭折の画家たち」というキーワードがあげられます。狷介なまでに独自の画法を開拓するがあまり短い生涯を遂げた画家たち。その代表的な作家が22歳という若さでこの世を去った、村山槐多と言えるでしょう。村山槐多は従兄で画家の山本鼎から、「小生は槐多の芸術的の天性を愛惜して居ます、……もし、発達すれば、小生などは、とてもかないさうもない位なものになるかも知れないと思われる」と評されました。久万美所蔵の《裸婦》や《芍薬》は、槐多が18歳頃の作品。さらに本展では、槐多が12歳頃に、『日本少年』に寄稿した詩や作文も展示します。槐多の早熟な芸術性を感じ取ることができます。

一方で、吉田蔵澤などの日本画家の多くは、画業の晩年に自身の技法を見出した姿が目立ちます。墨の濃淡だけで幽雅な自然や哲学、文学の世界を表現することは容易ではありません。井部コレクションのなかには、浅井忠や三輪田米山など、一作家を年代別に作品蒐集を行った形跡が見受けられます。作家の年代ごとに作品と向き合うことで、老熟する作品の魅力に気づかされるはずです。それは、作家の画業を見つめることに他なりません。ぜひご自身の年齢と重ね合わせて、作品と対峙してみてください。

30



②



③



④

同時展示

◎句になる絵画—『俳句の缶づめ』(100年俳句計画発行)表紙に選出された久万美所蔵作品と学芸員が選句した俳句を一挙公開!

◎久万美所蔵の民藝作品—河村元泰コレクションの河井寛次郎や濱田庄司など、民藝に関する作品を展示。また今年度新収蔵した工藤省治作品もご覧いただけます。

イベント

- 新春吟行会—2023年1月8日(日)14時30分～, 無料(要観覧券), 電話申込
- 学芸員解説—2023年1月8日(日), 3月25日(土), 4月22日(土), 5月6日(土) 全日14時30分～, 無料(要観覧券), 申込不要



- ① 灰野方登《花鳥図》1880年、絹本着色/軸、町立久万美術館蔵(井部コレクション)
- ② 高橋由一《真時の渡》1873年頃、油彩/キャンバス、町立久万美術館蔵(井部コレクション)
- ③ 河野通秀《風景》1915年、インク/紙、町立久万美術館蔵
- ④ 山本鼎《風景》1912年頃、油彩/キャンバス、町立久万美術館蔵
- ⑤ 巖辺華山《老松図》1831年、紙本墨画淡彩/軸、町立久万美術館蔵(井部コレクション)

展覧会の会期および関連事業は、新型コロナウイルスの影響により変更になる可能性があります。新型コロナウイルス感染防止対策のため、ご来館の際はマスクの着用、消毒、検温のご協力をお願いします。

JRバス:松山から70分(ほぼ2時間毎、土・日曜・祝運休あり)予讃線松山駅から久万高原行「久万中学校前」下車徒歩約10分。
車:松山市内から国道33号線で約50分、高知市内から約2時間、松山自動車道松山ICから国道33号線を高知方面へ約30分、久万中学校前交差点を左折、県道12号(西条久万線)を0.8km東進、右側、駐車場45台(無料)。

KMA
Kuma Museum of Art
町立久万美術館

〒791-1205
久万高原町菅生 2-1442-7
TEL0892-21-2881
FAX0892-21-1954

38歳

⑤